

# しへん 詩篇

# 23

# へん 篇



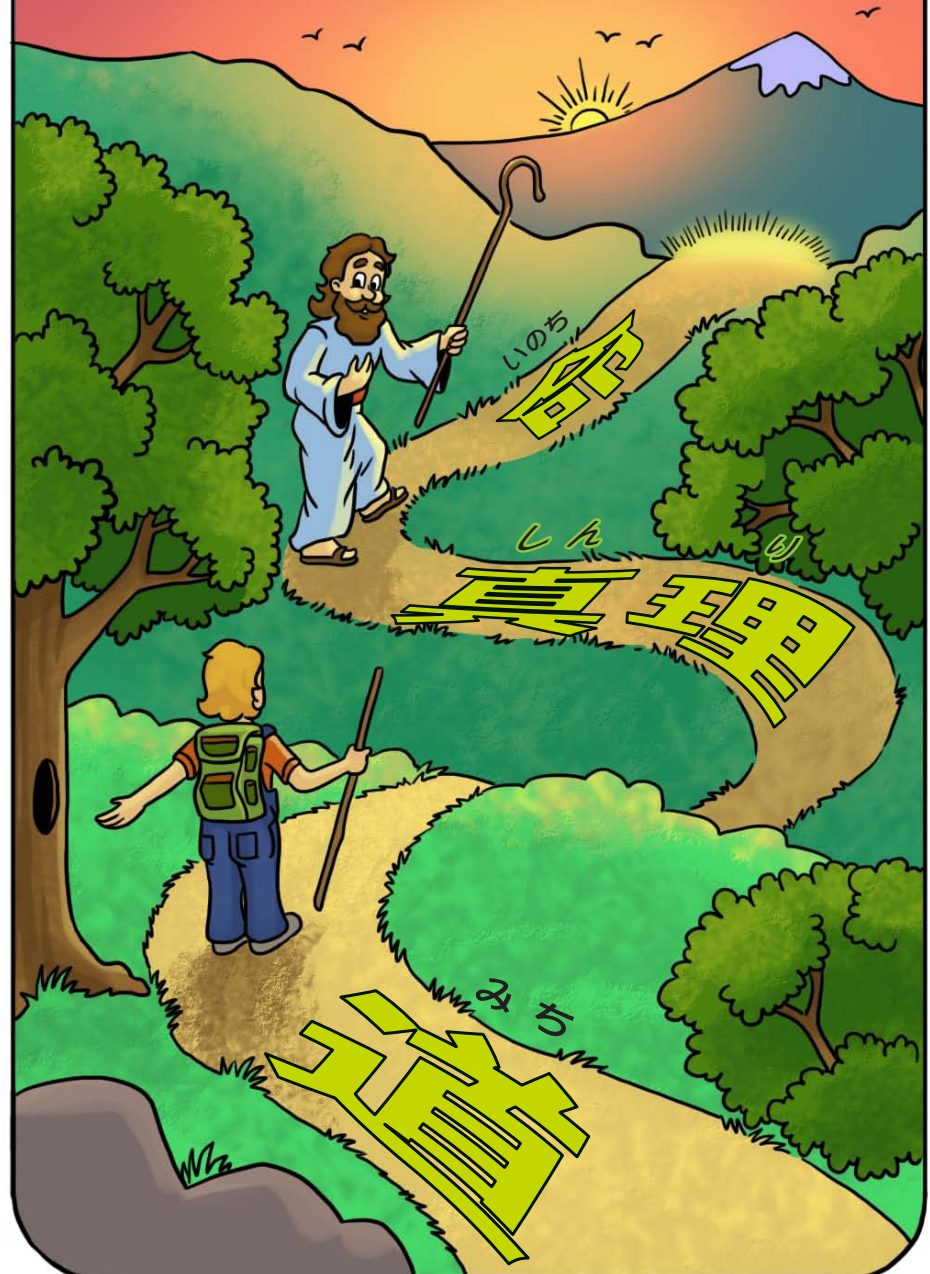
しゅ ぼくしゃ  
主は わたしの 牧者であって、  
わたしには 足りない ことが ない。



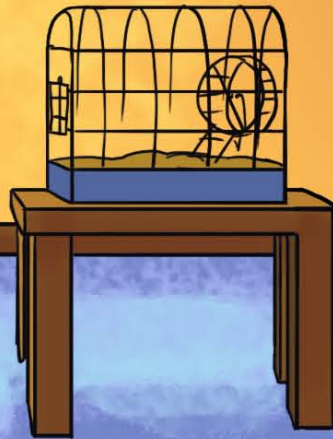
しゅ たましい い がえ  
主はわたしの魂を生き返らせ、



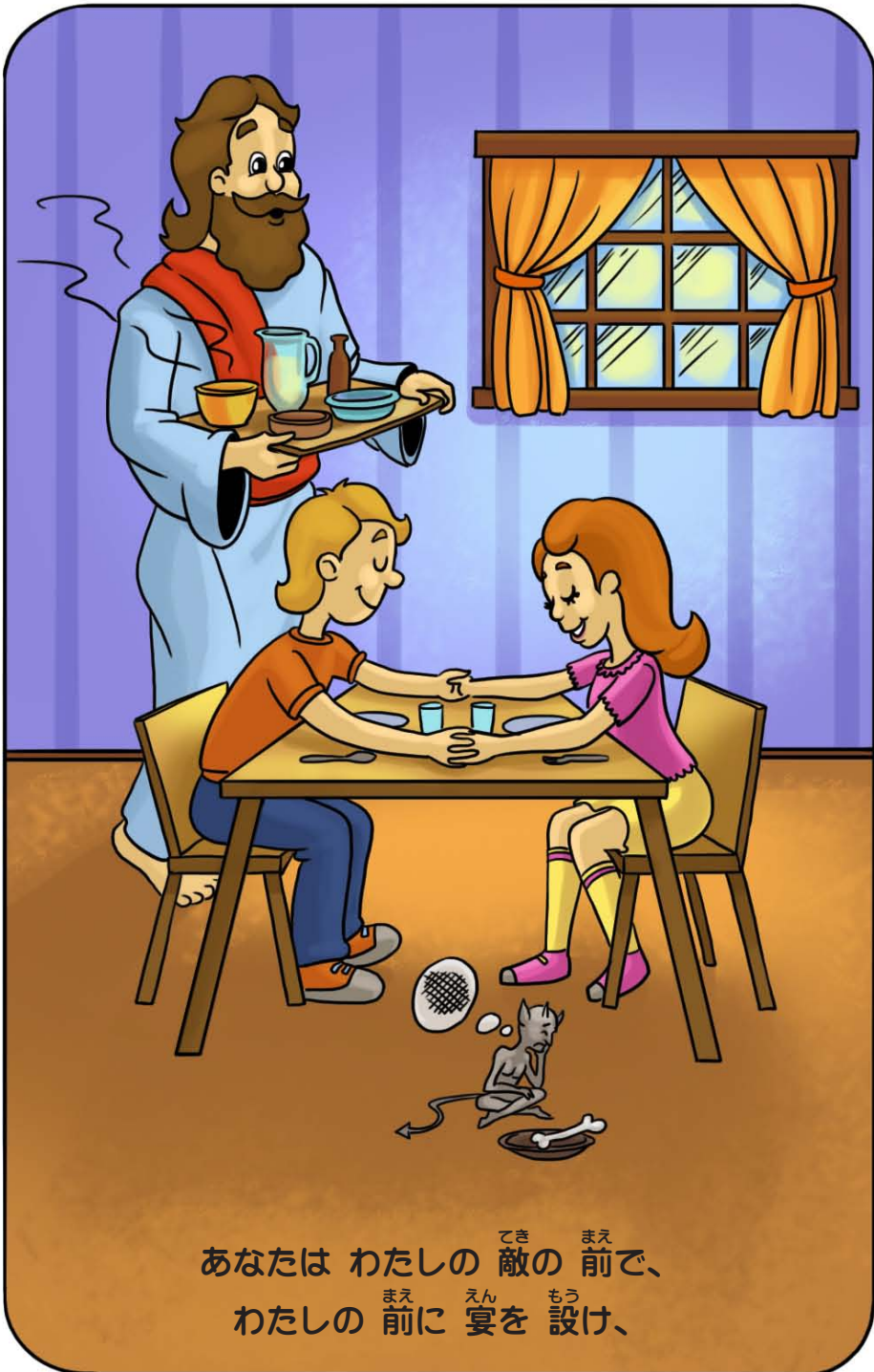
な ただ みち みちび  
み名のためにわたしを正しい道に導かれる。



たといわたしは <sup>し</sup>死の <sup>かげ</sup>陰の <sup>たに</sup>谷を <sup>あゆ</sup>歩むとも、  
わざわいを <sup>おそ</sup>恐れませんか。



あなたがわたしと <sup>とも</sup>共に おられるからです。あなたの  
むちと、あなたの つえは わたしを なぐさめます。

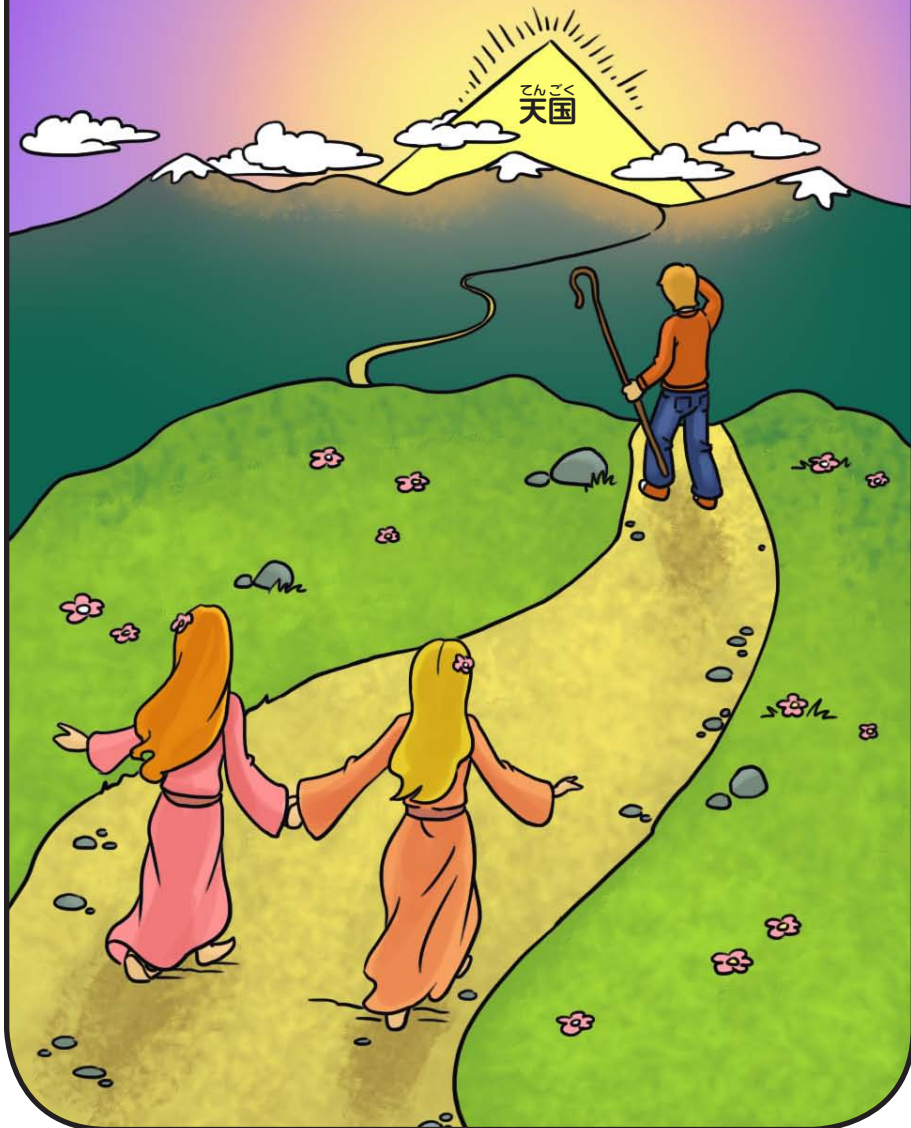


あなたはわたしの <sup>てき</sup>敵の <sup>まえ</sup>前で、  
わたしの <sup>まえ</sup>前に <sup>えん</sup>宴を <sup>もう</sup>設け、



わたしの <sup>こうべ</sup>頭に <sup>あぶら</sup>油を <sup>そそ</sup>注がれる。  
わたしの <sup>さかずき</sup>杯はあふれます。

わたしの <sup>い</sup> 生きている <sup>かぎ</sup> 限りは <sup>かなら</sup> 必ず  
<sup>めく</sup> 恵みと <sup>ともな</sup> いくしみとが 伴うでしょう。



わたしは <sup>しゅ</sup> <sup>みや</sup> <sup>す</sup> とこしえに 主の 宮に 住むでしょう。